



# 平成27年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月2日

上場取引所 東

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社  
コード番号 4187 URL <http://www.ooc.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 鎮目 泰昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長

(氏名) 永松 茂治

四半期報告書提出予定日 平成27年7月2日

配当支払開始予定日

TEL 06-6264-5071

平成27年8月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年11月期第2四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第2四半期	11,879	4.4	830	30.6	892	33.1	597	42.4
26年11月期第2四半期	11,379	1.2	635	12.8	670	0.4	419	△6.3

(注)包括利益 27年11月期第2四半期 1,319百万円 (292.9%) 26年11月期第2四半期 335百万円 (△67.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第2四半期	26.05	—
26年11月期第2四半期	18.29	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第2四半期	34,867	25,467	72.4
26年11月期	34,435	24,141	69.5

(参考)自己資本 27年11月期第2四半期 25,241百万円 26年11月期 23,920百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年11月期	—	7.00	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	23,970	0.8	1,746	28.6	1,871	27.5	1,205	35.2	円 銭 52.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年11月期2Q	22,937,038 株	26年11月期	22,937,038 株
② 期末自己株式数	27年11月期2Q	9,726 株	26年11月期	9,726 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年11月期2Q	22,927,312 株	26年11月期2Q	22,927,439 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や、個人消費の持ち直しの動きなどにより、景気の緩やかな回復が続いております。しかしながら、新興国・資源国経済の動向や欧州における債務問題の展開など、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下で当社グループは、今期（平成27年11月期）よりスタートしました10ヶ年の中長期経営計画「Next Stage 10」の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。安定基盤事業としての化成事業においては、主力のアクリル酸エステル収益性アップと海外拡販の強化とともに、高付加価値製品の上市を目指しております。先端材料事業としての電子材料事業においては、主力製品のシェア拡大と次世代材料開発に注力し収益改善に努めてまいりました。また、機能化学品事業においては、新規分野の開拓と海外拡販の強化を図り、既存製品の合理化と拡販による採算性の改善を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は118億7千9百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は8億3千万円（前年同四半期比30.6%増）、経常利益は8億9千2百万円（前年同四半期比33.1%増）、四半期純利益は5億9千7百万円（前年同四半期比42.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおります。）

## ①化成事業

化成事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車塗料樹脂関連の販売が好調に推移し売上高は増加いたしました。メタクリル酸エステルグループは、販売が低調に推移したことと、大阪工場の生産中止に伴い売上高は減少いたしました。しかしながら、設備投資の償却負担の減少によりセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は54億9千8百万円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント利益は1億8千4百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

## ②電子材料事業

電子材料事業におきましては、表示材料グループは、高精細タイプの需要などが好調に推移し売上高は増加いたしました。半導体材料グループは、需要が好調に推移し売上高は増加いたしました。また、売上高の増加に伴いセグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は37億2千3百万円（前年同四半期比30.5%増）、セグメント利益は5億7千万円（前年同四半期比46.3%増）となりました。

## ③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、国内市場の低迷により売上高は減少いたしました。機能材料グループは、撥材や特殊溶剤の販売が堅調に推移し売上高は横ばいとなりました。しかしながら、利益率の高い製品比率の増加によりセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は27億2百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益は7千5百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて4億3千1百万円増加し、348億6千7百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少及び投資有価証券の増加などによるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて8億9千4百万円減少し、94億円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少及び未払金の減少などによるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて13億2千5百万円増加し、254億6千7百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加などによるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて1億6千6百万円増加し26億1千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億5百万円の増加（前年同四半期は13億6千万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び売上債権の減少額などによるものです。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億2千3百万円の減少（前年同四半期は12億9千8百万円の減少）となりました。これは、主に定期預金の預入による支出、定期預金の払戻による収入及び有形固定資産の取得による支出などによるものです。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億9百万円の減少（前年同四半期は4億1千7百万円の減少）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月19日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更

に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が191,029千円減少し、利益剰余金が120,431千円増加しております。なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の35.4%から平成27年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については32.8%に、平成28年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については32.1%に変更されています。この税率変更により、固定負債の繰延税金負債の金額(繰延税金資産の金額を控除した金額)が95,573千円減少しております。また、法人税等調整額が7,677千円減少し、その他有価証券評価差額金が96,254千円増加し、退職給付に係る調整累計額が8,431千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,880,254	3,237,119
受取手形及び売掛金	8,392,775	7,731,765
有価証券	400,548	200,972
製品	2,521,693	2,746,139
仕掛品	1,233,952	1,311,619
原材料及び貯蔵品	966,665	970,042
繰延税金資産	163,183	182,878
その他	112,471	112,943
貸倒引当金	△11,504	△10,405
流動資産合計	16,660,040	16,483,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,515,903	5,335,413
機械装置及び運搬具(純額)	2,749,400	2,651,810
土地	2,290,382	2,290,382
建設仮勘定	56,804	102,610
その他(純額)	284,207	327,580
有形固定資産合計	10,896,698	10,707,797
無形固定資産		
のれん	703,133	623,533
その他	157,783	129,220
無形固定資産合計	860,916	752,754
投資その他の資産		
投資有価証券	5,467,080	6,348,682
長期預金	200,000	200,000
保険積立金	267,037	273,518
その他	83,944	101,673
貸倒引当金	—	△35
投資その他の資産合計	6,018,062	6,923,839
固定資産合計	17,775,677	18,384,390
資産合計	34,435,718	34,867,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,731,315	4,406,902
短期借入金	10,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	272,925	365,425
1年内償還予定の社債	30,000	—
未払金	1,786,961	1,040,528
未払法人税等	353,143	303,938
役員賞与引当金	43,540	19,850
その他	455,006	826,703
流動負債合計	7,682,891	6,988,346
固定負債		
長期借入金	777,824	556,048
繰延税金負債	527,517	808,305
役員退職慰労引当金	527,939	543,023
固定資産撤去損失引当金	270,685	232,670
退職給付に係る負債	330,882	113,728
その他	176,407	157,920
固定負債合計	2,611,255	2,411,696
負債合計	10,294,147	9,400,042
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,680,880	3,680,880
利益剰余金	15,407,299	16,010,442
自己株式	△3,944	△3,944
株主資本合計	22,684,530	23,287,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,521,304	2,219,618
為替換算調整勘定	22,243	29,305
退職給付に係る調整累計額	△307,351	△295,482
その他の包括利益累計額合計	1,236,196	1,953,441
少数株主持分	220,843	226,307
純資産合計	24,141,570	25,467,423
負債純資産合計	34,435,718	34,867,465



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
売上高	11,379,716	11,879,425
売上原価	8,962,804	9,168,439
売上総利益	2,416,911	2,710,985
販売費及び一般管理費	1,781,537	1,880,973
営業利益	635,374	830,012
営業外収益		
受取利息	2,466	1,865
受取配当金	31,183	37,258
その他	29,014	28,220
営業外収益合計	62,664	67,344
営業外費用		
支払利息	2,676	3,742
為替差損	8,743	1,388
開業費	13,344	—
その他	3,105	0
営業外費用合計	27,870	5,131
経常利益	670,168	892,225
特別利益		
固定資産売却益	—	178
投資有価証券売却益	8,786	—
特別利益合計	8,786	178
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	1,252	805
特別損失合計	1,252	806
税金等調整前四半期純利益	677,702	891,597
法人税、住民税及び事業税	242,156	295,518
法人税等調整額	9,623	△5,527
法人税等合計	251,780	289,991
少数株主損益調整前四半期純利益	425,922	601,605
少数株主利益	6,522	4,257
四半期純利益	419,399	597,348

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	425,922	601,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,493	698,466
為替換算調整勘定	△5,566	7,062
退職給付に係る調整額	—	12,385
その他の包括利益合計	△90,059	717,914
四半期包括利益	335,862	1,319,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,913	1,314,593
少数株主に係る四半期包括利益	5,949	4,926

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	677,702	891,597
減価償却費	655,042	736,787
のれん償却額	13,266	79,599
貸倒引当金の増減額(△は減少)	789	△1,063
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,692	15,084
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,520	△23,689
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	6,050
受取利息及び受取配当金	△33,649	△39,124
支払利息	2,676	3,742
為替差損益(△は益)	△1,658	5,180
固定資産売却損益(△は益)	—	△177
固定資産除却損	1,252	805
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,786	—
売上債権の増減額(△は増加)	△266,410	661,009
たな卸資産の増減額(△は増加)	△789,959	△305,490
仕入債務の増減額(△は減少)	1,150,179	△324,412
その他	207,115	405,530
小計	1,597,733	2,111,430
利息及び配当金の受取額	36,757	41,803
利息の支払額	△3,070	△3,364
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△270,694	△344,695
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,360,724	1,805,173
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300,000	△780,000
定期預金の払戻による収入	300,000	590,000
有形固定資産の取得による支出	△385,828	△1,282,245
有形固定資産の売却による収入	—	300
無形固定資産の取得による支出	△1,398	—
投資有価証券の取得による支出	△206,259	△207,034
投資有価証券の売却による収入	108,000	—
投資有価証券の償還による収入	—	400,105
保険積立金の積立による支出	△6,039	△6,480
保険積立金の払戻による収入	6,763	—
のれんの取得による支出	△796,000	—
その他	△17,713	△38,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,298,475	△1,323,606

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	15,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△224,440	△129,276
社債の償還による支出	△80,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△45,935	△47,966
自己株式の取得による支出	△69	—
配当金の支払額	△114,905	△115,103
少数株主への配当金の支払額	△2,175	△2,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△417,525	△309,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,777	△5,180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△359,054	166,865
現金及び現金同等物の期首残高	3,747,279	2,450,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,388,225	2,617,119

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,768,100	2,852,852	2,758,763	11,379,716	—	11,379,716
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	50,771	50,771	△50,771	—
計	5,768,100	2,852,852	2,809,534	11,430,487	△50,771	11,379,716
セグメント利益	182,223	390,316	68,431	640,972	△5,597	635,374

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電子材料事業」セグメントにおいて、平成26年5月31日に出光興産株式会社のアダマンタン誘導体事業を譲り受けいたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては796,000千円であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年5月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,498,959	3,723,613	2,656,852	11,879,425	—	11,879,425
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	45,216	45,216	△45,216	—
計	5,498,959	3,723,613	2,702,068	11,924,641	△45,216	11,879,425
セグメント利益	184,718	570,910	75,638	831,267	△1,254	830,012

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。